

# 東京大学入学式でインパクトある祝辞

## ～上野千鶴子東大名誉教授の祝辞が話題に～

### 府職の友 本庁ニュース

発行  
大阪府職労  
内線3746

東京大学の入学式が4月12日に行われ、東京大学名誉教授の上野千鶴子氏の祝辞が、ニュースやネット上で話題になっています。

入学式の来賓の祝辞として、過激な事例を引き出しながら自身の考えを入学式の祝辞で披露する前半と、「頑張れば報われる」と思えることの有難さをかみしめ、そのがんばりをがんばれない人を助けるために使うべきという心揺さぶる後半部分の内容で、興味深いものとなっています。

読者の皆様もいろいろな思いを持たれたのではないのでしょうか。前半には、大学の医学部で起こった不正入試問題からの入試の公平性への疑問、事件や差別まで

語っており、祝辞としては、疑問に思いましたが、後半の内容に共感する人も多かったからこれだけの話題性にあるものになったのだと思います。後半部分を少し紹介したいと思います。

### 以下、引用して紹介

「あなたたちはがんばれば報われる、と思つてこゝまで来たはずです。ですが、冒頭で不正入試に触れたとおり、がんばつてもそれが公正に報われない社会があなたたちを待っています。

そしてがんばつたら報われるとあなたがたが思えることそのものが、あなたがたの努力の成果ではなく、環境のおかげだったこと忘れないようにしてください。

あなたたちが今日「がんばつたら報われる」と思えるのは、これまであなたたちの周囲の環境が、あなたたちを励まし、背

を押し、手を持つてひきあげ、やりとげたことを評価してほめてくれたからこそです。

世の中には、がんばつても報われないひと、がんばろうにもがんばれないひと、がんばりすぎて心と体をこわしたひと：たちがいます。がんばる前から、「しよせんおまえなんか」「どうせわたしなんて」とがんばる意欲をくじかれるひとたちもいます。

あなたたちのがんばりを、どうぞ自分が勝ち抜くためだけに使わないでください。恵まれた環境と恵まれた能力とを、恵まれないひとびとを貶めるためにではなく、そういうひとびとを助けるために使ってください。そして強がらず、自分の弱さを認め、支え合つて生きていくこと、

### 新採歓迎の本庁ランチタイム集会

き：4月26日(金)12:15～12:55  
ところ：府職労会議室(職員会館分館1階)  
内容：給与明細の読み方と労働組合の保険について

※ お弁当、お茶を用意しますので、25日午前中までに支部・分会役員または府職労(内線3741)へご連絡ください。

水曜日は  
一休  
自分の健康と家族のために  
定時に帰りましょう!

きてください。もし、新入生、あるいはその親として、リアルに聞いていたら、文字では伝わらないことがあつたかもしれません。あれこれ言うべきではないと思いますが、今の自分にできることを弱者のために力を使うこと、自分の弱さを認め、支え合つて生きていくことは、一つの世にも大切なことだと思えます。